

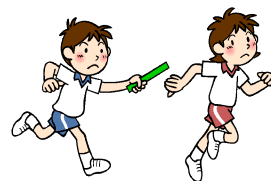
東方青龍

とうほうせいりゅう(Green Dragon)

伊勢崎市立あずま中学校

学校通信 NO.202

令和2年10月16日(金)



体育祭開催される！

抜けるような秋晴れの空の下、第41回体育祭が、9月30日に開催されました。今年度は、体育祭も大幅に種目を減らし、生徒の応援席も例年以上に間隔をとるなどして感染症対策を講じての実施となりました。2・3年生有志による力強い応援合戦に始まり、100mやハンドボール投げなどの個人種目、昨年度から加わった「立ち五段跳び」や「カンガルージャンプ」、世相を反映した「ソーシャルディスタンスリレー」などの競技を行い、午前中に全競技を終了しました。閉会式は放送で行いましたが、結果発表の際には該当クラスからの大きな歓声も聞こえてきました。様々な行事が規模縮小や中止を余儀なくされている中、とても楽しくかつ感動的な体育祭となりました。

各学年の総合成績

	優勝	準優勝	第3位
1年	1年8組 193点	1年4組 177点	1年2組 176点
2年	2年7組 227点	2年1組 211点	2年4組 163点
3年	3年6組 192点	3年1組 177点	3年3組 168点



選手宣誓(生徒会長 五十嵐凜さん)



怒濤の応援



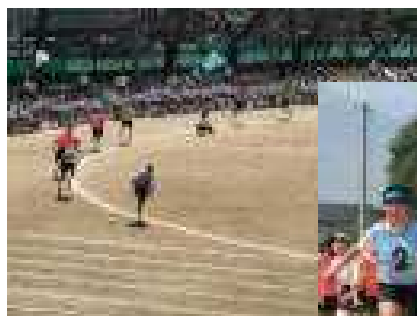
応援団長 阿久津君によるエール



100m走スタート！



新種目 ソーシャルディスタンスリレー



名誉を懸けて 4×100mリレー



一番盛り上がった チームジャンプ

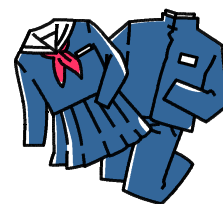


力投！ハンドボール投げ



表彰は校長室で

学校評価アンケート自由記述への回答



保護者アンケートの自由記述欄に書かれていた内容から、関心の高かった事柄や学校の説明が必要な事柄を取り上げ、寄せられた主な質問や意見についての学校の考え方を紹介します。

■制服・服装

本校は、平成26年度から登下校を含め制服での学校生活に変更しました。ここでの願いは、「卒業後も役立つ社会性を生徒に身に付けさせるとともに、授業を受ける際に必要な適切な緊張感を自ら持たせること」です。そしてこの願いは、教師のみならず保護者の皆様の思いに他なりません。しかし、「7～9月の暑い時期は体育着通学にして欲しい」という意見が毎年寄せられております。学校では、夏場においては個人の判断で授業中の服装を半袖、ハーフパンツで過ごしても良いという措置をとっており、また服装ではありませんが、熱中症対策として水筒の持参期間を年間通して認めています。制服登校について、ご家庭でもご協力いただいているおかげで以前と比べ生徒の授業への取り組みは一層良くなり、学校全体の雰囲気もさらに落ち着いてきております。今後も様々な状況を踏まえて対応してまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■部活動指導

部活動については、伊勢崎市部活動ガイドラインに則り、1週間のうち平日1日と、土曜日・日曜日のうちどちらか1日は原則として休養日としています（中体連の大会日程を除きます）。今後も家庭生活や学校生活に支障をきたすような登校時刻・下校時刻にならないように留意し、生徒にとってバランスの良い生活リズムになるよう配慮していきます。また、毎月の活動計画は、市のガイドラインにそって前月の25日までに文書で配布できるように努めます。

部活動が、生徒の健全育成と学校生活の充実につながるよう、努力してまいりますので、今後ともご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。また、気になる点等ございましたら、遠慮なく学校にご連絡ください。

■安全指導

今年度は、大変残念ながら大きな交通事故が発生してしまいました。このため、交通安全に関する指導については、学校とPTAとが連携して、自転車の一時停止表示の設置を警察にお願いしたり、臨時の街頭指導を計画したりして、生徒の安全な登下校のために努力しております。今後も指導を継続し、生徒に注意喚起を促して参ります。命に関わることでありますので、ご家庭でもご指導のほどよろしくお願いいたします。

■その他

今年は感染症対策として、行事の中止や規模縮小を余儀なくされ、保護者の方に来校していただく機会も大幅に減ってしまいました。各学年から発行される学年通信の他、学校通信や学校のホームページなどで、生徒の様子を随時紹介するよう努めておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。また、マスク着用や手洗い・うがいの徹底、休み時間の教室換気などを生徒に指示するとともに、放課後には教職員が窓や手すりなどを消毒するなどして、感染症の予防に努めております。生徒玄関にはアルコール手指消毒液を設置し、登校の際の手指消毒は継続しており、手洗い場の石鹸も液体石鹸に取り替えるなど、できるだけの対策を講じています。

学校評価には、「学校が適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める」という目的があります。本来ならば学校職員が保護者や地域の方々と直接意見を交流して建設的な話し合いを持つことが理想ですが、学校評価アンケートや懇談会などの機会を有効に使う、あずま中をよりよい学校にしていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。